

みずほCustomer Desk Report 2022/01/11 号(As of 2022/01/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	115.62	1.1354	131.29	1.3591	0.7178
SYD-NY High	115.85	1.1360	131.31	1.3602	0.7203
SYD-NY Low	115.05	1.1285	130.17	1.3533	0.7149
NY 5:00 PM	115.21	1.1330	130.56	1.3579	0.7174
NY DOW	36,068.87	▲ 162.79	日本2年債	-	-
NASDAQ	14,942.83	6.93	日本10年債	-	-
S&P	4,670.29	▲ 6.74	米国2年債	0.8974	2.83bp
日経平均	-	-	米国5年債	1.5145	1.17bp
TOPIX	-	-	米国10年債	1.7541	▲ 1.05bp
シカゴ日経先物	28,230.00	▲ 210.00	独10年債	-0.0385	▲ 0.25bp
ロンドンFT	7,445.25	▲ 40.03	英10年債	1.1875	1.00bp
DAX	15,768.27	▲ 179.47	豪10年債	1.9100	7.50bp
ハンセン指数	23,746.54	253.16	USDJPY 1M Vol	6.04	0.31%
上海総合	3,593.52	13.98	USDJPY 3M Vol	6.29	0.19%
NY金	1,798.80	1.40	USDJPY 6M Vol	6.51	0.14%
WTI	78.23	▲ 0.67	USDJPY 1M 25RR	-0.55	Yen Call Over
CRB指数	236.637	▲ 1.26	EURJPY 3M Vol	6.55	0.18%
ドルインデックス	95.99	0.27	EURJPY 6M Vol	6.95	0.10%

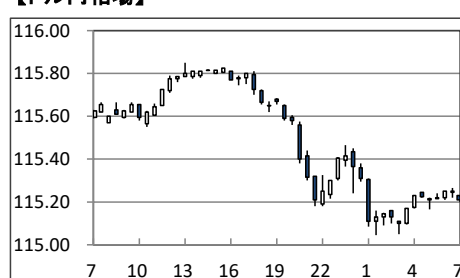
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月7日	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	11月 -0.2%	1.0%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	11月 1.0%	-0.5%
	19:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)	12月 0.4%/5.0%	0.3%/4.8%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	12月 199k	450k
	22:30	米 失業率	12月 3.9%	4.1%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	12月 0.6%/4.7%	0.4%/4.2%
1月8日	00:00	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	政策を調整する時に来ている	

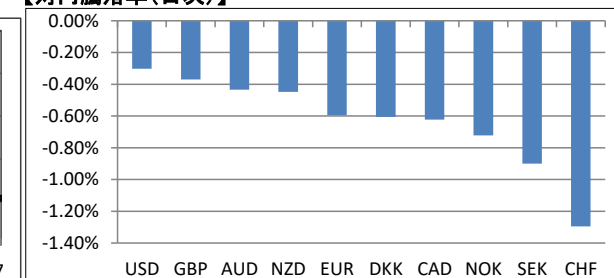
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月11日	09:30	豪 貿易収支	11月 A\$10550m	A\$11220m
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	11月 3.6%	4.9%
	23:12	米 メスター・クリープランド連銀総裁 講演	-	-
	23:30	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
1月12日	00:00	米 パウエルFRB議長再指名承認公聴会	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.70-115.70	1.1280-1.1380	130.00-131.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は下落する展開。先週金曜日の米12月雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比19.9万人増と市場予想を大きく下回る結果となったものの、失業率が3.9%に低下し、平均時給も市場予想を上回る結果に、FRBの金融政策スタンスに大きな影響を与えないとの見方が優勢。昨日は東京市場が休場となる中、欧米株が大幅下落する展開にドル円は一時115.05円まで下落し、115.20円台でクローズ。本日のドル円相場は昨日の流れを引き継ぎ上値重い推移を予想。また、本日はパウエルFRB議長の公聴会を予定しており、事前の証言テキストでは従来のFRBスタンスの姿勢が示されているものの、質疑応答で更なるタカ派なスタンスが確認された場合は、リスクアセット下落を受けたドル円の下落に警戒したい。ただしその場合でもドル買い・円買いとなると考えており、ドル円の下落幅は限定的か。

アジア	アジア時間のドル円は115.62レベルでオープン。日本休日となる中、ドル円は朝方にやや下落し115.55をつけるも、先週金曜日に発表された雇用統計結果はFedの早期利上げ観測をサポートするとの見方を受けてか、反転上昇。その後は堅調に推移し、結局、115.83レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.83レベルでオープン。東京休日の中でドル円は下落。Fedの利上げ織り込みが進む中で欧州株が弱含みで推移し円高が進んだ。115.18まで売られ115.24レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1327レベルでオープン。序盤はもみ合いとなり1.1345をタッチする場面もあったが、次第にドル高に押されると、1.1312に低下し1.1316レベルでNYに渡った。先週の雇用統計後の上昇をはき出した格好、外資系金融機関が今年の米利上げ回数見込みを4回に引き上げた、とのヘッドラインもみられた。
ニューヨーク	米銀大手が今年の利上げ予想を3回から4回へ上方修正したとの話もあり、海外市場ではドルが買われる一方、先週水曜のFOMC議事録以来、株式市場で利上げやQTがあまり織り込まれていないとの見方から、米株先物や欧州株が下落する動きに、円買いが強まり、ドル円は115.18まで下落し、115.24レベルでNYオープン。主要な米経済指標の発表が予定されていないなか、朝方はショートカバーから一旦115.46まで戻すが、軟調に寄り付いた株式市場が大幅に下落する動きを受け、115.05まで下落する。その後は株式市場で売りが一巡し下げ止まったことからドル円も115.26まで戻し、終盤はケリガ副議長が今週金曜に退任することを発表したのが、ドル円の反応は限定的となり、パウエル議長の翌日の上院銀行委員会での指名承認公聴会での事前証言原稿が発表されたが特段驚くような内容も見当たらず、市場の反応は限定的となり、115.21レベルでクローズした。一方、ユーロドルはシュナールEOB専務理事が「エネルギー高でインフレ抑制必要になる可能性」と話したことが伝わったが、海外市場ではドル買いが継続したことや、欧州株が軟調に推移する動きを受けたユーロ円の下げに上値を重く推移し、1.1312まで下落し、1.1316でNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1285まで下落するが、その後は米金利上昇が落ち着くなかドル売りが優勢となり1.1333まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1330レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報提供を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。